



ツキノワグマ

「原始」と「原子」がある島、
下北半島。鮮やかな四季の風景、
そこに住む様々な動物たち…
しかしその一方、79の原子力施設
が集中するのも現実です。
この美しくも力強いフォトブックを
読んで何を感じとるかはお人それぞれ
だと思います。日本人が本当に守る
べき豊かさ、一緒に考えてみませんか？
(伊東)



「下北半島
野生博物館」
(石毛良明/著 朝日新聞出版)

下北
半島
(青森県
北東部)

日本人が守るべき 本当の豊かさ

“下北半島”とは、青森県の北東部に位置する半島で、本州最北端の地です。そこには鮮やかな四季や様々な種類の動物たちが存在しています。しかしその一方、多くの原子力施設が集中するのも、最果ての半島の現実です。

「原始と原子がある」といわれる下北半島。そんな状況も知りながらこのフォトブックを読むと、厳しくも美しい土地で確かに暮らしている動物たちの命輝く瞬間を垣間見ることができます。

震災と原発事故を経て、本当に日本人が守るべき豊かさとは何か、美しい自然、たくましい動物たちと今一度考えてみるのはいかがでしょうか？

『下北半島 野生博物館』

(石毛良明／著 朝日新聞出版)

定価：1,800円（税別）

仕様：B5変判 80ページ

ISBN：978-4-0225-1140-9